

■松岡康毅 司法官僚。<明治維新>に提言して官途入り，検事総長に至る。日本大学初代学長。<関東大地震>で没。

まつおかやすたけ

孝明天皇・・・1846＝ 阿波国板野郡七条村で，徳島藩中老家臣松岡康吉の四男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 7歳：

安政大地震・1855＝ 9歳：

安政の大獄・1859＝13歳：藩校長久館に学ぶ。

桜田門外変・1860＝14歳：

遣欧使節・・・1861＝15歳：江戸に出，幕府儒官若宮勿堂に入門。

8月18日政変 1863＝17歳：大阪に移り，藤沢昌蔵に師事。

禁門の変・・・1864＝18歳：

明治維新・・・1868＝22歳：

戊辰戦争終・1869＝23歳： 徳島藩知事に意見書を呈して認められ，

初の日刊新聞1870＝24歳： 藩庁の文学復読役に任じられ，公務方応接役，民生局検事助役，少属，権大属を勤め，

廃藩置県・・・1871＝25歳： 新政府に出仕，司法省権大録，

明治6年政変 1873＝27歳：

初の民間工場1875＝29歳： 大録，権少判事，少判事と進んで，

東京裁判所所長となる。

神戸裁判所所長を経て，

・・・1880＝34歳： 司法大書記官となり，

明治14年政変1881＝35歳：

新体詩抄・・・1882＝36歳： *広島控訴院裁判長となる。

帝国大学始・1886＝40歳： 裁判実務視察のため，出張を命じられて，プロシア・オーストリアに学び，

国民之友始・1887＝41歳： 帰国後，司法大臣山田顕義のもとで，法律取調委員

初の対等条約1888＝42歳： 高等法院陪席裁判官，

帝国憲法発布1889＝43歳： 日本法律学校創立に参加し，評議員。

帝国議会始・1890＝44歳： 東京控訴院長，

天津事件・・・1891＝45歳： *検事総長となり，<天津事件>に際しては津田三蔵への大逆罪適用に反対した。貴族院議員に勅選される。

大本教・・・1892＝46歳： <弄花事件>に伴う司法省の内紛で検事総長を辞任したが，山田顕義の死後，廃校の危機に陥っていた日本法律学校の再興に尽力し，

郡司千島探検1893＝47歳： 第2代校長に就任。

日清戦争始・1894＝48歳： 第2次伊藤博文内閣の内務次官に起用され，郡の分合廃置などを進め，

白馬会・・・1896＝50歳： <二十六世紀問題>の余波で辞任したが，内務省所管事務政府委員，

台湾事務局委員，内務省文官普通試験委員長を歴任，

子規句歌革新1898＝52歳： 第3次伊藤博文内閣の内務次官に復任した後，行政裁判所長官となる。

この前後，貴族院議員としても活動，第14議会では宗教法の成立に努めた。

ビア7国産化・1900＝54歳：

日比谷公園・1903＝57歳： *専門学校令で日本法律学校が日本大学となり，初代の学長となった。

日露戦争終・1905＝59歳：

満鉄発足・・・1906＝60歳： 第1次西園寺内閣に，農商務大臣として入閣，

アラビヤ創刊・1908＝62歳： 辞職。

伊藤博文暗殺1909＝63歳：

明治天皇没・1912＝66歳：

ロシア革命・1917＝71歳： 男爵に叙せられ，

本格政党内閣1918＝72歳：

大暴落・・・1920＝74歳： 枢密顧問官。

原敬首相暗殺1921＝75歳：

水平社結成・1922＝76歳： 日本大学に総長制を導入し，初代総長。

関東大震災・1923＝77歳： *神奈川県の葉山別邸で<関東大地震>に遭遇し，没した。